

| | | | |
|---|--|------------------|-------------------|
| 科目コード／科目名 (Course Code / Course Title) | 現代社会と人間 (Contemporary Society and Humanity) | | |
| テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle) | グローバル時代の教育 | | |
| 担当者名 (Instructor) | 渋谷 真樹(SHIBUYA MAKI) | | |
| 学期 (Semester) | 秋学期(Fall Semester) | 単位 (Credit) | 2単位(2 Credits) |
| 科目ナンバリング (Course Number) | CMP2100 | 言語 (Language) | 日本語 (Japanese) |
| 備考 (Notes) | | | |

授業の目標(Course Objectives)

- 1) グローバリゼーションによって生じる人の動きや教育の現状・課題について、基礎知識を修得する。
 - 2) グローバル化が進む中で求められている資質能力や、それを育成するための教育についての知識を持ち、それらを応用することができる。
 - 3) 多文化共生のための教育について、自分なりの考えを表明できる。
- 1) To obtain the basic knowledge about the situation and problems of globalization and intercultural education.
 - 2) To activate the knowledge about competency in globalization and global education.
 - 3) To express your own ideas on education for multicultural coexistence.

授業の内容(Course Contents)

本授業では、現代社会の特徴のひとつであるグローバリゼーションという社会的文脈の中で人間をとらます。特に、異文化間で生じる教育現象やグローバル化に対応した教育のあり方について学びます。具体的には、海外帰国生や外国籍児童生徒など、複数の文化の中で育つ子どもたちの教育や、国際学力調査と教育改革、国際的な教育プログラムである国際バカロレア、多文化共生教育などのトピックを学習します。

In this course we study humanity in globalization. Especially we learn various educational phenomena and educational programme in intercultural settings. The topics include education for returnees and foreign children who are grown up in the multicultural circumstances, the relationship between international study of academic achievement and educational reform, International Baccalaureate as an international education programme, and education for multicultural coexistence.

授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション: 本授業の目的と概要
2. グローバリゼーションとは
3. 複数の文化の中で育つ子どもたちの教育① 在日コリアン
4. 複数の文化の中で育つ子どもたちの教育② 海外帰国生
5. 複数の文化の中で育つ子どもたちの教育③ 外国籍児童生徒
6. 複数の文化の中で育つ子どもたちの教育④ 国際結婚家庭
7. 国際学力調査① 国民教育とグローバル社会
8. 国際学力調査② 国際競争と教育改革
9. 国際バカロレア① 理念と背景
10. 国際バカロレア② 教育実践と影響
11. 多文化共生のための教育① 国際理解教育から SDGsへ
12. 多文化共生のための教育② 多文化教育
13. 多文化共生のための教育③ シティズンシップ教育
14. まとめとふりかえり

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

授業時間外の学習については、必要に応じて別途指示する。

成績評価方法・基準(Evaluation)

最終レポート(Final Report)(30%)/授業毎のリアクションペーパー(70%)

最終レポートを提出しない場合は、単位修得不可。2/3以上のリアクションペーパーを提出していない場合は、単位修得不可。

テキスト(Textbooks)

関連文献や資料は、授業中に随時紹介します。

参考文献(Readings)

1. 額賀美紗子、芝野淳一、三浦綾希子編、2019年、『移民から教育を考える：子どもたちをとりまくグローバル時代の課題』、ナカニシヤ出版 (ISBN:978-4779513695)

その他(HP等) (Others(e.g.HP))

講義を中心としながら、グループワークやディスカッションを取り入れます。

注意事項(Notice)